

260

145
153

尋常小學修身訓
生徒用入門

檢定申請本

120.1
43
1

K120.1

43

1

關藤成緒撰

入門

尋常小學修身訓

東京 教育書房藏版

尋常小學修身訓緒言

一本書ハ教育ニ關スル 勅語ノ御旨意ヲ奉シ小學校教
則大綱ニ據リ兒童ヲシテ人道ヲ實踐スルノ大要ヲ知
ラシムルヲ目的トシテ編輯セリ故ニ載スル所ノ格言
ハ容易ニ了解シ得ベキモノヲ撰ビ善行ノ例ハ專ラ之
ヲ兒童ニ採リ又處々ニ俚諺教訓歌ヲ插入シテ記誦ノ
便ニ供セリ

一本書ヲ全部七冊トシ入門一冊ハ尋常一年ニ課シ外六
冊ハ每學年ニ二冊ヲ課ス又本書ヲ教授スルニハ拙著
尋常小學修身口授用書ヲ參照セラルベシ該書ニハ高崎正
風先生ノ講義セラレタル 勅語ノ御旨意并ニ本書ニ

載セタル格言ノ解釋及ヒ引例ニ供シタル善行ノ原文ヲ掲ケタリ

一本書ハ一學年コトニ父母ニ孝ニノ條ニ始リ義勇公ニ奉スルノ條ニ終ル故ニ修業スル年限ノ長短ニ關ハラス一學年ナルモ能ク修身ノ大體ニ通スルヲ得ベシ

明治二十六年十月

撰者誌ス

一國を重んずる國士ニ尊ヒ一旦發志スルハ其志ヲ公ニ
露ニ熱器ヲ必者ニ進テ公益ヲ圖ル事務ヲ開テ常
衡變察ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒテ其業ヲ成
スルニ及ニ夫報昧味シ風文昧計シ恭儉子ヲ持シ
ニミテ教育ノ職斯亦實ニ此ニ在ス爾且夫父母ニ孝ニ
心ヲノミニテ世ヲ綱メ美ヲ齎シテ此ノ善ヲ國體ノ精華
懋バシテ其真ナリ善ヲ日乃夫夫ノ其ニ善ク善ニ對シ
期斯レニ善ク皇族皇宗國ヲ善ムルコト其善ニ對シ

味誌

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ケルコト宏遠ニ徳ヲ
樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆
心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華
ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ
兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己ヲ持シ
博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓
發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常
ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ
奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キ
ハ獨朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ
遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣
民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ認ラス之ヲ
中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺
シテ成其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽

常尋 小學修身訓入門

小學修身訓入門

昭和二十三年十月三十日

仁ヲ為其徳ヲ一ニシテコトヲ無難ク
 中ハニ能ムトテ却ラス却爾母ヲ一具ニ養フ卵瓢
 瓦ノ具ニ養フスハ夫知ムク古今ニ通シテ駑ラスムレ
 養ハ能ハ養ニ始テ皇太后皇宗ノ養陪ニシテ子孫母
 養風ヲ興漳スルニ及ラン
 仁能知ク其母ノ母ヲタケルニナラス又ハテ爾母夫ノ
 奉ルルヲ天職無譲ノ皇範ヲ林翼スヘシ具ハ必チ

尋常 小學修身訓入門

關藤成緒撰

鳥に反哺の孝あり
 鳩に三枝の禮あり



尋常修身訓入門

〇一

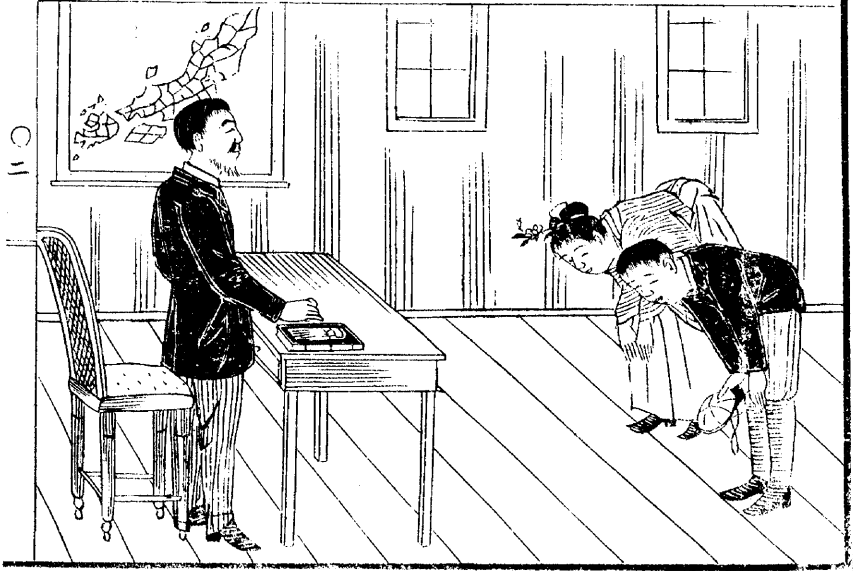
第一課

あさわきて
はだいちに
ちちははを
はいすべー



第二課

かくかうにゆけ
ばだいちに
せんせいにれい
をすべー



第三課

きやうだい
はたがい
になかよく
すべー



第四課

ともだち
には
えんせつ
をつくす
べー



第五課

なにごとくも

しやうぢさま

にすべし



第六課

うそをつく

ひとを

ともだちと

するなかれ



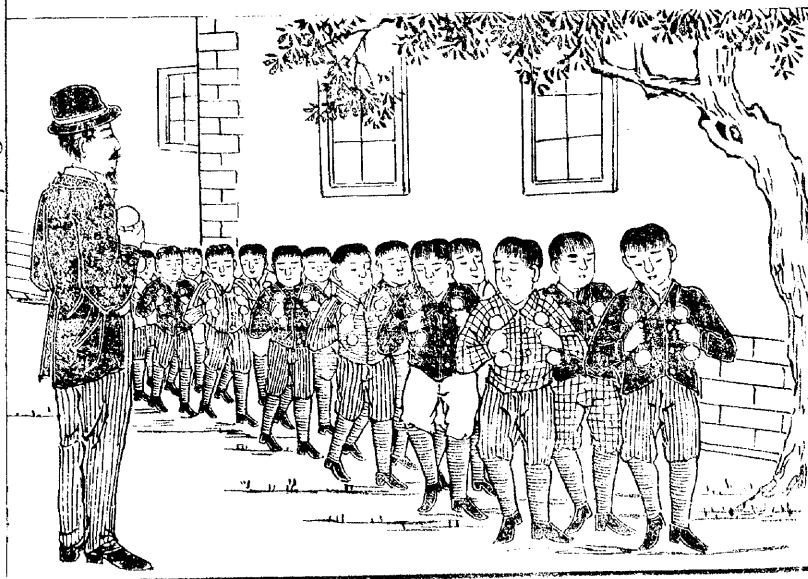
第七課

からだを
たいせつに
あやうき
ことをす
べからず



第八課

いのちは
たから
の
たから



第九課

よわきものは
むしけものに
いたるままで
くるくむる
ことなかれ



第十課

わがみを
つめりてひと
のいたさを
しれ



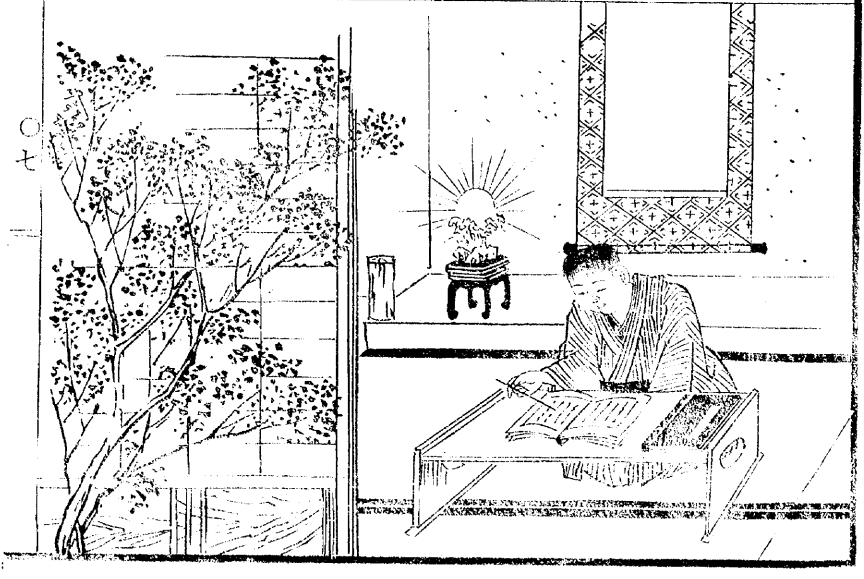
第十一課

づんきやう
するときは
いつ志んに
すべし



第十二課

たまみがか
ざれば
ひかり
な



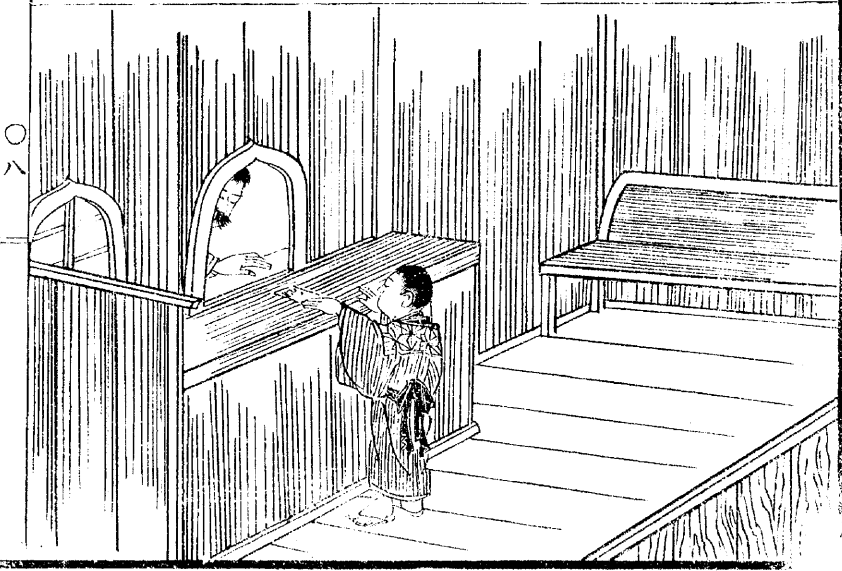
第十三課

ものごとに
あきるひと
はなにごと
もならず



第十四課

ちりつもし
てやまと
なる



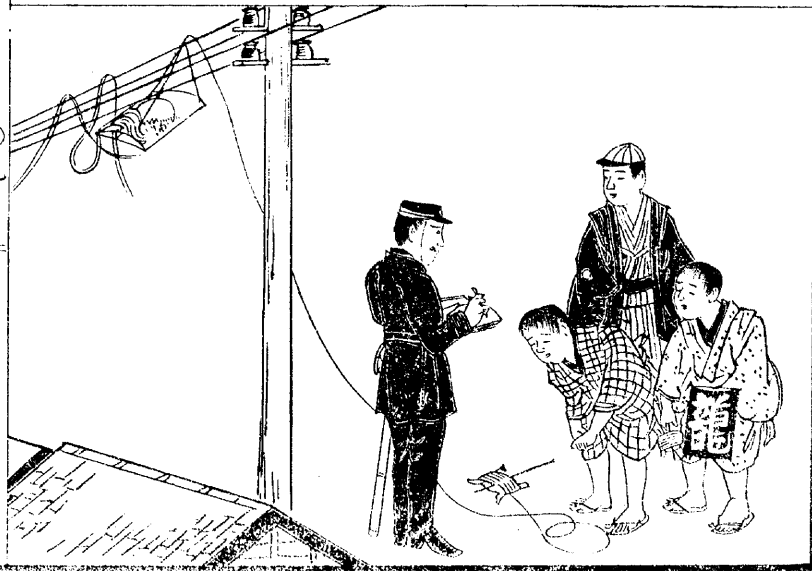
第十五課

はつとを
まもり
いたづらを
つづむべし



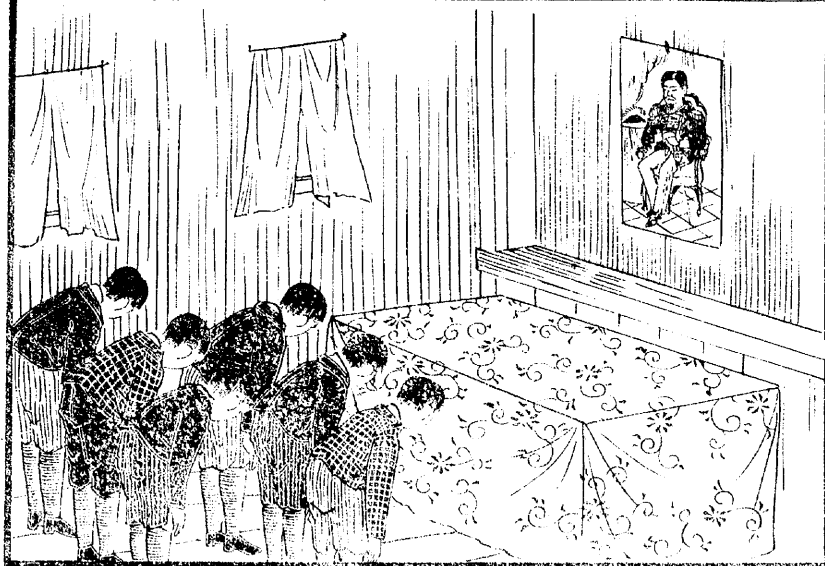
第十六課

こうくわい
さきに
たたず



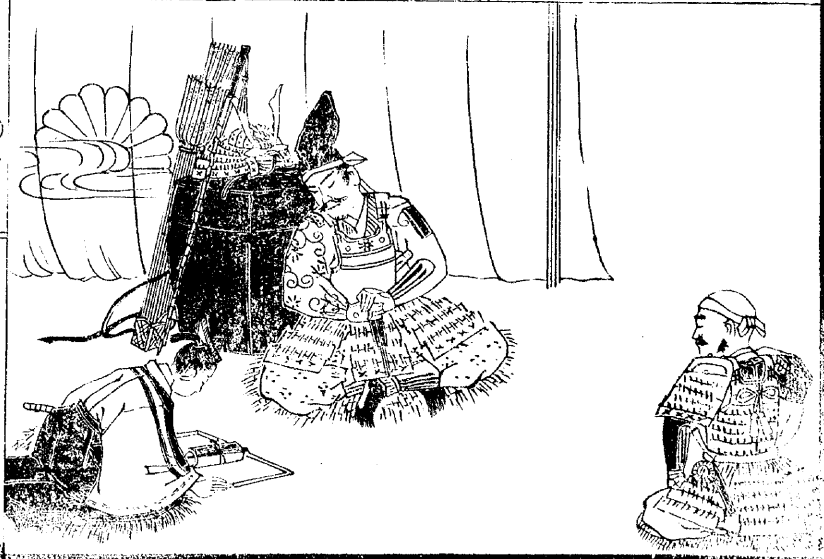
第十七課

てん—の
おんめぐみ
はつねに
あする
べからず



第十八課

ひとはいち
だいなは
まつだい



第十九課

うちにてはよくちち
ははにつかへ
かくかうにてはよく
せんせいのをへを
まもるべし

明治廿六年十一月廿六日印刷
同 廿六年十二月一日發行

入門 定價金貳錢五厘

撰者 關藤成緒

廣島縣深津郡福山町
字西町五百六十番邸

版權
所有

發行兼
印刷者

林縫之助

東京京橋區南禰町七番地

賣捌所 吉川半七

東京京橋區南傳馬町三丁目一番地

